

定期報告(ウルグアイ内政・外交:2019年12月)

1 概要

【内政】

- 2日, バスケス大統領及ラカジェ・ポウ次期大統領が会合し, 政権移行プロセスが開始。
- 9日, 軍が国境から20km圏内をパトロールできるようにする法令が制定。
- 10日, 上院は薬用及び治療用大麻の促進及び利用に関する包括法を承認。
- 16日, ラカジェ・ポウ次期大統領が次期閣僚を発表。
- 16日, ニン・ノボア外相は, セロ・ラルゴ県知事選挙への出馬を公式に表明。
- 27日, 選挙裁判所は地方選挙の規則変更を決定。決議は連立与党に有利なもので, 連立政党はモンテビデオ県及びいくつかの県において共通リストの下出馬する可能性を検討。

【外交】

- 2日, ラカジェ・ポウ次期大統領は, 次期政権発足後にモンテビデオ・メカニズムからの脱退する旨表明。
- 4日, ニン・ノボア外相, メルコスール首脳会議の前に行われた共同市場理事会の会議に出席。
- 5日, トポランスキー副大統領, ブラジルで開催された第55回メルコスール首脳会議に出席。
- 6日, ラカジェ・ポウ次期大統領, 王剛駐ウルグアイ中国大使と会合。
- 10日, バスケス大統領, フェルナンデス新亜大統領の就任式に出席。
- 17日, 米国政府が提供する「e-Trace」を通じて, ウルグアイ警察による銃器の追跡を可能にする二国間協定が締結。
- 20日, ラカジェ・ポウ次期大統領, ジョージ駐ウルグアイ米国大使と会合。

2 本文

【内政】

1 政権移行プロセスの開始

2日, バスケス大統領は3月1日に就任するラカジェ・ポウ次期大統領と会合し, 正式に政権移行プロセスが開始された。同日夜, ラカジェ・ポウ次期大統領は, テレビメディアによるインタビューで, 現政権が公共料金の引き上げを行わないことについて疑問を呈し(本年7月, 現政権は新たな公共料金の引き上げを計画していない旨発表), これは次期政権のより大きな節約努力を意味すると述べた。また, 同会合後の記者会見で, ラカジェ・ポウ次期大統領は, アルバロ・デルガド氏を大統領府長官に, ロドリゴ・フェレス氏を同副長官に任命すると発表した。

2 ウルグアイの民主主義指数

2日, ストックホルムの民主主義・選挙支援国際研究所(IDEA)の本部で, 民主主義国家に関する年次報告書が発表された。ウルグアイは民主主義に関し中南米をリードしており, 全てのサブ項目でトップ25にランクインしているラテンアメリカで唯一の国である。同報告書によると, ウルグアイは指標として使用される5つの民主主義属性で上位に位置している。

3 ラカジェ・ポウ次期大統領とUPM社との会合

5日, ラカジェ・ポウ次期大統領はフィンランド企業UPM社の幹部を迎え, 今年, 多額の投資に

より、セルロースの新工場を設置することを確認した。ラカジェ・ポウ大統領は法的確実性を伝え、地域の水質改善のために協力する意向を示した。

4 国境地域における軍によるパトロールに関する法令の制定

9日、軍が国境から20km圏内をパトロールできるようにする法令が制定された。人口密集地域を除く国境地域(国境から国内に向けて20km圏内)で、監視及び管轄権を有する組織の支援業務を軍に許可するもので、パトロールの方法及び任務遂行のために国境で行うことができる全ての作戦を定義している。

5 「薬用及び治療用大麻の促進及び利用に関する包括法」の承認

10日、上院は医療大麻の使用を統制する法律を承認した。今後、医療大麻は医療専門家によって処方され、監督下で使用される。新たに大麻由来の医薬品の認可も規定している。

6 バスケス大統領のがん治療

13日、大統領府は、バスケス大統領のがん治療が成功した旨声明を発表した。8月末にバスケス大統領は、肺がんを患っていることを公表し、数ヶ月にわたりウルグアイで治療をうけていた。

7 次期政権の閣僚発表

16日、ラカジェ・ポウ次期大統領は次期政権における閣僚を発表した。政党ごとの配分は国民党から7名、コロラド党から3名、カビルド・アビエルト党から2名、独立党から1名。同日、バスケス政権からデルガド次期大統領府長官及びフェレス次期大統領府副長官に、政権移行のための文書が渡された。17日には現政権閣僚及び次期政権閣僚の間で移行のための会合が始まった。発表された次期閣僚は以下のとおり。

(1) 大統領府

ア 長官: アルバロ・デルガド

イ 副長官: ロドリゴ・フェレス

(2) 内務省

ア 大臣: ホルヘ・ララニャガ

イ 次官: ギジェルモ・マシエル

(3) 外務省

ア 大臣: エルネスト・タルビ

イ 次官: カロリーナ・アチェ

(4) 経済財務省

ア 大臣: アスセナ・アルベレチェ

イ 次官: アレハンドロ・イラストルサ

(5) 国防省

ア 大臣: ハビエル・ガルシア

イ 次官: リベラ・エルゲ

(6) 教育文化省

ア 大臣: パブロ・ダ・シルベイラ

イ 次官: アナ・リベイロ

(7)運輸公共事業省

ア 大臣:ルイス・アルベルト・ヘベル

イ 次官:フアン・ホセ・オライソラ

(8)工業エネルギー鉱業省

ア 大臣:オマール・パガニーニ

イ 次官:ウォルテル・ベリ

(9)労働社会保障省

ア 大臣:パブロ・ミエレス

イ 次官:マリオ・アリッツィ

(10)厚生省

ア 大臣:ダニエル・サリーナス

イ 次官:ホセ・ルイス・サッヒアン

(11)農牧水産省

ア 大臣:カルロス・マリア・ウリアルテ

イ 次官:イグナシオ・ブッフア

(12)住宅土地整備環境省

ア 大臣:イレネ・モレイラ

イ 次官:タバレ・ハッケンブルッチ

(13)観光省

ア 大臣:ヘルマン・カルドソ

イ 次官:レモ・モンセグリオ

(14)社会開発省

ア 大臣:パブロ・バルトル

イ 次官:アルマンド・カスタインデバット

(15)大統領府予算企画庁(OPP)

ア 長官:イサーク・アルフィ

イ 副長官:ホセ・ルイス・ファレロ

8 ニン・ノボア外相, セロ・ラルゴ県知事選挙に出馬表明

16日, ニン・ノボア外相は, セロ・ラルゴ県知事選挙への出馬を公式に表明した。

自身の任期である2月29日まで外務省で勤務した後, セロ・ラルゴ県知事選挙のキャンペーンを開始すると発表した。同外相は, 国民党に所属していた1985年~1994年まで同県知事をつとめている。

9 地方選挙の規則変更

27日, 選挙裁判所は地方選挙の規則変更を決定した。新規則により, 党内選挙で政党のリストに入っていた者は, 2020年5月の地方選挙に他のリストで出馬することができる。県知事候補者に対する禁止事項は憲法が制定しているため, 維持されている。決議は政権交代を実現する連立与党に有利なもので, 連立政党はモンテビデオ県知事選挙を始めいくつかの県において共通リストの下出馬する可能性を検討している。

【外交】

1 モンテビデオ・メカニズムからの脱退表明

2日、ラカジェ・ポウ次期大統領は、ベネズエラにおける政治紛争解決に向けて、OAS等既存の国際的枠組みを通じて解決策を講じることが相応しいとし、メキシコ及びカリブ諸国と共に立ち上げたモンテビデオ・メカニズムに関し、次期政権発足後にウルグアイは脱退すると発表した。リマ・グループに関しては、自身の見方はリマ・グループと類似しているとしながらも、加入するかどうかについては「今決めることではない」と述べた。

2 ユネスコ・ラテンアメリカ・カリブ海地域事務所設立70周年記念式典

2日、ユネスコ・ラテンアメリカ・カリブ海地域事務所設立70周年記念式典がモンテビデオで開催され、ニン・ノボア外相、レオン住宅土地整備環境相、ムニョス教育文化相らが出席した。

3 ニン・ノボア外相の共同市場理事会出席

4日、ニン・ノボア外相は、メルコスール首脳会議の前にブラジルで行われた共同市場理事会の会議に出席した。同外相は、会議冒頭でボリビアの現状に言及し、ボリビアにおける制度崩壊に対処するため、メルコスール加盟国、ボリビア及びチリの民主主義条項として知られるウシュアア議定書の適用を要請した。また、2019年6月のEUメルコスールFTAの政治合意、8月のEFTAメルコスールFTAの政治合意を挙げ、同年はメルコスールにとって最も実りの多い年の1つであったと述べた。

4 第55回メルコスール首脳会議

5日、トポランスキー副大統領は、ブラジルで開催された第55回メルコスール首脳会議に出席した。ブラジルからパラグアイに議長国が交代した。11月の制度崩壊後のボリビアへウシュアア議定書を適用するウルグアイの要請及び、メルコスール対外関税を引き下げるブラジルの提案について議論された。

5 ラカジェ・ポウ次期大統領と王剛駐ウルグアイ中国大使の会合

6日、ラカジェ・ポウ次期大統領は王剛駐ウルグアイ中国大使と会合した。王剛在ウルグアイ中国大使は会合の中で、ウルグアイとのFTA署名に対する自国の関心を伝え、ラカジェ・ポウ次期大統領に中国を訪問するよう招待した。

6 バスケス大統領のアルゼンチン大統領就任式出席

10日、バスケス大統領は、フェルナンデス新亜大統領の就任式に出席するため、ブエノスアイレスを訪問した。ラカジェ・ポウ次期大統領も同行した。また、就任式にはムヒカ前大統領、トポランスキー副大統領も出席した。

7 銃器追跡システムに関するウルグアイ・米国間の協定締結

17日、米国政府が提供する「e-Trace」システムを通じて、ウルグアイ警察による銃器の追跡を可能にする、ウルグアイ・米国間の協定が締結された。ケネス・ジョージ駐ウルグアイ米国大使はウルグアイ国家警察との覚書に署名した。ウルグアイ国家警察は同システムのオンラインデータベースに無償でアクセスすることが可能となる。

8 リベラーポルト・アレグレ便の就航

18日、外務省はウルグアイのリベラ市とブラジルのポルト・アレグレ市をつなぐフライトが16日に就航した旨プレスリリースを発出した。ゴル航空がTwoFlexと提携し運航する。1時間40分のフライトで、週4便の運行となる。

9 駐ウルグアイ米国大使との会合

20日、ラカジェ・ポウ次期大統領は、ジョージ駐ウルグアイ米国大使と会合した。同米国大使は、ウルグアイとのFTA交渉の可能性を歓迎していると述べた。

【要人往来】

○往訪

- 11月30日～3日 アストリ経済財務大臣のパナマ訪問(アンデス開発公社(CAF)セミナー)
- 4日～7日 ベネッチ農牧水産大臣及びデ・レオン住宅土地整備環境大臣のスペイン訪問(国連気候変動会議)
- 5日 ケチチアン観光大臣のブラジル訪問(メルコスール観光イベント)
- 10日 バスケス大統領及びニン・ノボア外務大臣のアルゼンチン訪問(アルゼンチン大統領就任式)

○来訪

- 2日～3日 アズレ・ユネスコ事務局長

(了)